

民商だより

須崎民主商工会

〒785-0034 須崎市大間本町 11-20

TEL 0889-42-5201 FAX 0889-42-9240

メールアドレス sminnsy@ybb.ne.jp

第51回多ノ郷地区

盆踊り大会17日(土)

民商夜店 おおくの参加を

須崎市多ノ郷地区の各種団体による実行委員会の主催で、8月17日(土)、須崎市西崎公園で盆踊りが行われます。毎年1500人位でにぎわいます。

【この盆踊り大会は】

須崎民商も毎年実行委員会に参加、夜店を出し、地域の伝統を守っています。

夜店は、子供に大人気のある、金魚すくい・ヨーヨーつり、ピカピカペンダント、光るブレスレット等販売し、子供たちから元気を沢山もらっています。

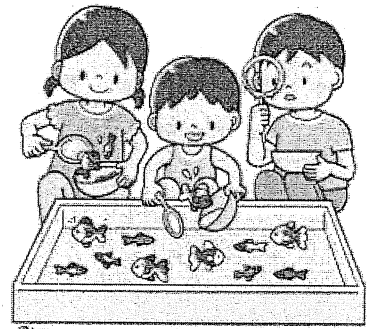
憲法9条改悪・消費税増税を許さず、子供たちの

いのちと健康を守る共済会に加入して

健康診断を受けよう

- * 受診日 8・9月の月～土曜日です。
- * 受付「すさき診療所」に直接電話で受付。
医療機関 医療生協すさき診療所
電話番号 0889-40-0566
- * 費用 ・ 共済会員は特定検診とセット検診で無料
市町村国保に加入の方(40歳以上)で、共済会員が、成人病検診を特定検診とセットで検診した場合、補助がありますので、本人負担は、無料となり、お得です。
・ 医療生協組合員 7000円
・ 組合員以外 9000円
- * 成人健診以外の検診(追加費用が必要)
・ 前立腺ガン検診・骨検診・動脈硬化検診等々。
詳しくは須崎民商共済会事務局まで。

夢と希望をかなえる社会にして行きましょう。



残暑お見舞い申し上げます。

51回を数える盆踊り

51回を数える多ノ郷地区盆踊り大会、以前は、地元青年団が中心となり行われ、奉仕活動などにも盛んに取り組んでいました。しかし、平成時代には、青年団活動も弱体化して、盆踊り大会は、地域の各種団体実行委員会により伝統が引き継がれています。

* 青年団のルーツは室町時代に存在し、江戸時代には村の生活組織と密着した自然発生的な集団で、先祖を守っていたとも伝えられています。一説によると、お盆とは元々、仏様にお供え物

* お盆等の休暇について

- 8月13日(火)
- 8月14日(水)
- 8月15日(木)
- 10日から15日まで事務所はお休みです。
- ご迷惑をかけますが、よろしくお願ひします。

* 商工新聞の休刊について

8月12日(月)号は、印刷・輸送の関係で休刊です。今回は、8月19日(月)号です。

* 多ノ郷盆踊り大会

8月17日(土)午後5時から
須崎市西崎公園
県連創立50周年記念レセプション
8月18日(日)

* 19日行動

8月19日(月)
午後5時～6時まで

をする盆のことで、本来は夏の季節に精霊に捧げる供養の「器」のことを指していました。また、古代においては魂の切り替えを行う祭りがお盆に行われていたとする説があります。お盆自体は、元々仏教行事ではなく、古神道の先祖崇拜と仏教とが習合して、お盆の祭り(死霊を慰めるもの)として行われてきた多様です。

一方、盆踊りは、源流と言われる念仏踊りが盂蘭盆会と結びつき、お盆に帰ってきた先祖の霊を慰め、精霊を送り出し、彼岸に送り返す仏教行事となってきました。平安時代では疫病をさけるための踊りで、室町時代末期ごろから民衆娯楽になっていったと言われています。盆踊りの場合は、あの世との境界・接点となり、その踊りには、霊と踊り手が親しみ、通じ合うことを表す所作が盛り込まれています。また、盆踊りには娯楽的な要素もあり、帰省した人々再会の場、男女の求婚の場でもありました。かつては夜通し行われていたようです。現代では、踊りを楽しむお祭りとして各地で開催されています。旧暦7月15日の晩に盆踊りをし、16日に精霊を送ります。15日は満月なので、照明のない時代でも明るく、月の引力の影響のためか高揚するため、盆踊りには最適でした。盆踊りの踊り方には、2種類あり、大通りなどを列になって踊り歩くもので「念仏踊り」とも言われます。一方は、境内や公園など広い場所に櫓(やぐら)を組んで、その周りを踊ります。地域性等々、諸説があり面白いです。

10%10月
消費増税
中止
しかない